

菅政権のブレーンの一人である竹中平蔵氏(「成長戦略会議」のメンバー)は、「国民に毎月7万円支給。これにより生活保護も年金もいらなくなる」と主張しています。社会保障費の削減です。

日本のベーシック・インカム研究の第一人者の小沢修司先生にベーシック・インカムとは何か、社会保障を充実させる立場から、竹中説の問題点と福祉社会に向けた課題などについて講演していただきます。

講師



小沢 修司氏

京都府立大学名誉教授

竹中平蔵氏の月額7万円給付問題を斬る
ベーシック・インカムを正しく理解しよう！

日時 2021年1月14日(木)
18:00~

講師紹介

1952年大阪に生まれる。1982年京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修退学。京都府立大学女子短期大学部、同福祉社会学部、公共政策学部を経て、2018年3月同大学定年退職。現在、同大学名誉教授。専攻は社会政策学、生活経済論

書籍紹介

『福祉社会と社会保障改革-ベーシック・インカム構想の新地平-』(単著、高菅出版、2002年)「ベーシック・インカム構想と新しい社会政策の可能性」(社会政策学会編『新しい社会 政策の構想-20世紀的前提を問う-』、法律文化社、2004年)「ベーシックインカム入門 財源はどうする?」『週刊エコノミスト ベーシックインカムって何?』(2020年7月21日号)



参加ご希望の方は、北海道社保協shahokyo@dominiren.gr.jpまでご連絡ください。URLをお知らせします。問い合わせ ☎011-758-2648 (道社保協)